

## 第1回目

☆金子 元美(かねこ あさみ)消防司令補  
(東消防署高谷出張所)



### ○消防士を目指したきっかけ

高校までバスケットボール部の部活動に一生懸命取り組んできて、体を使う仕事につきたいとは考えていましたが、具体的にやりたい仕事が見つからなかった時、消防士であった兄の生き生きとした姿が印象的で、消防士を目指しました。

### ○市川市第1号の女性警防隊員として

私は市川市の女性警防隊員の第1号として、消防士を拝命しました。体力には自信がありました。が、男性職員と一緒に訓練などをすると体力や筋力の差を感じることもあり。しかし、先輩方とトレーニングすることで現場活動に必要な体力もつき、また現場活動における心構えを教養してもらったことで、活動に自信を持てるようになりました。先輩方のサポートで色々とコミュニケーションもとれるようになり、現場でも気落ちすることなく活動することができました。



### ○やりがい

やりがいは市民の方に感謝されることです。現在は救急救命士として救急業務に携わっています。救急搬送した傷病者の方が、元気になって消防署に来ていただいたり、救急活動中に感謝の気持ちをいただいた時に、嬉しい気持ちとやりがいを感ずります。

### ○今後

1人でも多くの命を救うために、日々自己研鑽し、女性ならではの目線も活かしながら活動し、市民の方や上司から信頼される救急救命士を目指していきたいです。

### ○これから消防士を目指す人へ

人を助けるということは、非日常の災害現場で活動するため、強い「精神力」と「覚悟」が必要です。皆さんの「人を助けたい」という思いがあれば大丈夫です。きつとつらいことがあっても乗り越えられます。一緒に市川市で働きましょう。



※掲載時(2019年6月17日)の内容です。

## 第2回目

☆山田 千芳子(やまだ ちほこ)消防士  
(東消防署)



### ○消防士を目指したきっかけ

中学生の時、あるテレビ番組を見て、迅速な活動をし、傷病者に優しく接している女性救急隊員に目を奪われました。人のために役立つ仕事に就きたいと進路を考えていた高校生の時、テレビで見た女性救急隊員の姿が思い浮かび消防士を目指すことに決め、大学で救急救命士の資格を取得しました。

### ○やりがい

私は救急救命士の資格を持っていますが、現在は警防隊として活動しています。救急隊と一緒に出動するPA連携などの活動で救急の知識を活かし救急隊をサポートできた時や、火災や救助活動など様々な災害現場で日々訓練してきたことが活かされたときにやりがいを感じます。

### ○消防操法大会に出場して

私は採用されて1年目に女性職員で初めて市川市消防職員操法大会に出場しました。先輩からの薦めと、サッカー一部で鍛えた体力を活かし色々な事にチャレンジしたいとの思いから挑戦しました。訓練が始まると男性職員との体力の差を感じ、最後までやり遂げることができるか不安になりました。先輩からのアドバイス、消防署のみんなのバックアップもあり必死でしたが最後までやり遂げることができました。大会では満足のいく結果を出すことができずに悔しい思いがありましたが、今振り返ると楽しかった訓練、大会でした。



### ○今後

現在警防隊員として活動していますが、今後は中学生の時にテレビで見たあの女性救急隊員のように市民に対して優しく、信頼される救急隊員になりたいと思っています。もし救急隊員として活動することができるようになったら、今までの警防隊としての経験を活かし広い視点で活動できるようになりたいです。

### ○これから消防士を目指す人へ

消防士は命に直接関わる仕事なので、常に緊張感やプレッシャーを感じることもあります。しかし、努力したことが人のためになるやりがいの大きい仕事です。市川市消防局と一緒に働きましょう。



## 第3回目

☆戒田 和世(かいだ かずよ)消防司令  
(西消防署大洲出張所)



### ○消防吏員を目指したきっかけ

「人の役に立てる仕事に就きたい。」と、思いながら就職活動をしていたところ、たまたま知人から消防の仕事について話を聞く機会がありました。消防の仕事は、人を助ける仕事と改めて気付かされ、人の役に立ちたいと思い、消防吏員を目指しました。

### ○仕事と育児の両立について

正直、仕事と育児の両立は大変でした。子供は病気をしながら成長していきますから、両立するためには家族や職場の協力や理解が必要です。私は、幸い家族と職場の理解を得られ、育児休暇などの制度も利用することができたので、ここまで続けてくることができました。心から感謝しています。



### ○今までにキャリア

消防に入ってから20年は、火災を未然に防ぐための予防業務に従事していました。保育園や幼稚園をまわって、紙芝居や腹話術を使いながら火災予防の普及宣伝を行ったり、新築の建物やガソリンスタンドへの検査、既存の建物の予防査察など実施していました。その後は救急隊や救急課で救命講習などを行い救急業務に携わっています。



### ○救急隊員であり、管理職、出張所長としての今

出張所長といえども、一緒に仕事をしている職員に協力をしてもらわなければ、成り立ちません。職員みんなに協力をしてもらいながら務めさせていただいています。消防の仕事はチームワークが最も重要です。例え一人の力が優れていても自分勝手に仕事をしては、良い仕事に結びつきません。私が最も重要視していることは、「相手を活かし、自分も活かされる。」相互に輝きあえる職場環境を作ることです。お互いの長所を引き出しながら協力し、より良い仕事をするために一人ひとりが個々の力を磨き、お互いに協力をしながら仕事をするのが大切だと思っています。それが「市民の安心・安全を守る」ことに繋がると信じています。

### ○これから市川市の消防吏員を目指す人へ

消防の仕事は危険、きついというイメージが強く、消防吏員を目指したいと思っていても、体力や筋力に自信がなくその一歩を踏み出せない人もいるかもしれません。でも、「人を助けたい」「誰かの役に立ちたい」と思う気持ちがあれば、不安がらずに是非、消防の門をたたいてください。あなたは決して、一人ではありません。消防の仕事は、チームで協力しながら行います。一人の力は小さいものかもしれませんが、その力が結束したら大きな力になります。是非、市民の安心・安全のためにワンチームで、良い仕事をしましょう。

※掲載時(2020年1月8日)の内容です。

## 第4回目

### ☆川内綾音(かわうちあやね)消防士

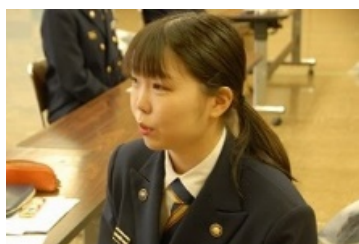


#### ○なぜ、消防吏員を志したのですか？

私が通っていた短期大学に、市川市消防局の方々が消火訓練に来てくださり、その際の明るく元気ハツラツな姿に心惹かれました。自分で消防士について調べたり、市川市消防局の説明会を伺う中で消防士は人に勇気や自信、優しさを届ける職業なのだと感じました。『私もそのような存在になりたい。』と強く思い志しました。

#### ○消防吏員として新たに一步踏み出しますが、今の気持ちは？

念願であった消防士になる事ができ、嬉しさと期待で一杯です。その反面、人の命に係わる職業なので多くの不安もあります。自分ができること一生懸命行い、鍛錬し、先輩の方々から多くのことを学んで精進したいです。



#### ○これからの目標は？

消防のことについて、たくさん勉強し多くの方を守りたいです。市民の方々に優しさ、安心を届け、「女性がいてくれて良かった。」と信頼してもらえるような温かい消防士になることが目標です。

### ☆八木果奈子(やぎかなこ)消防士



#### ○なぜ、消防吏員を志したのですか？

きっかけは、東日本大震災でした。テレビで津波の映像を見たとき、自分が今何もできないことに歯がゆさを覚えました。『救える命を救いたい。』そんな思いから消防吏員を目指しました。

#### ○消防吏員として新たに一步踏み出しますが、今の気持ちは？

自分の将来に対する期待と不安です。男性社会と言われる消防の世界でも女性であることに誇りを持ち、多角的な視点から物事をとらえられるように勤務にあたりたいです。



#### ○これからの目標は？

救急の現場で働きたいと思っています。これから多くの現場を経験し、たくさんのことを学んで、救急の現場で一人でも多くの命を救いたたいと思っています。



※掲載時(2020年4月10日)の内容です。